

新しい年のスタート

今は「学校教育目標の仕上げる時期」です

この一年間、私たちが大切にしてきた学校教育目標について、改めて考えてほしいと思います。本校の教育目標は「自立心と感謝の心を持ち、進んで他者のために貢献できる生徒の育成」です。実は今は、この教育目標を仕上げる時期です。

「自立心とは」

まず、「自立心」とは何でしょうか？
それは、誰かに頼らずに生きることではありません。自分で考え、自分で決断し、その結果に責任をもとうとする姿勢です。3年生のみなさんは、人生の中で初めて、「自分の進路を、自分の責任で選ぶ」場面に立っています。不安があっても当然です。迷っても当然です。しかし、逃げずに向き合っている今の姿こそが、教育目標の「自立心」です。授業への向き合い方、生活の仕方、言葉づかい等、日常の小さな積み重ねが自立心を育てます。



感謝は、行動で示すもの

次に、「感謝の心」についてです。感謝は「ありがとう」と言うことだけではありません。当たり前だと思っていることに、気づく力です。私たちは、一人で生きているように見えて、実はたくさんの人や環境に支えられて毎日を過ごしています。毎日、当たり前のように勉強できていること、学校に通えていること、支えてくれる家族や先生、仲間の存在。これらは、決して当たり前ではありません。

このようなことに「気づく力」が感謝の心の出発点です。そして、感謝とは、言葉よりも態度で表れるものです。遅刻をしない。授業に真剣に向き合う。周りの人を大切にする。それが、今、みなさんにできる感謝の表し方です。

他者への貢献は、最後の姿で示す

そして、「進んで他者のために貢献する」とは、大きなことをする、目立つことをする、という意味はありません。それは、困っている人に気づくこと。黙って掃除をすること。相手の立場で考えて、言葉を選ぶこと。誰かのために、そっと動ける人になることです。



3年生のみなさん、卒業までの一日一日は、もう多くはありません。後輩に見せる姿、学校への向き合い方一つ一つが、この学校の「答え」になります。

1・2年生のみなさん、今は、次の学年への準備期間です。これからは、学校を支える立場になります。「誰かがやる」ではなく、「自分がやる」という意識をもってください。

学校教育目標は、紙に書いて完成するものではありません。みなさん一人一人の行動で完成します。今日、誰かのためにできることは何か。自分で考え、自分で動き、感謝の気持ちを忘れずに行動できたか。
この冬から春に向かう時間を、自分自身を仕上げる時間にしていきましょう。